

東京岩高会の活動



元PTA会長阿部豊喜さんと遭遇 R4.8



会報発送作業 R4.7



栗原市訪問 佐藤克彦副市長(S.52卒)と R4.11



同窓会本部総会 R4.8



栗原市4校会 R5.2



役員会 R4.5



大家商人まつりくりこま高原ファーム様出店 R4.10



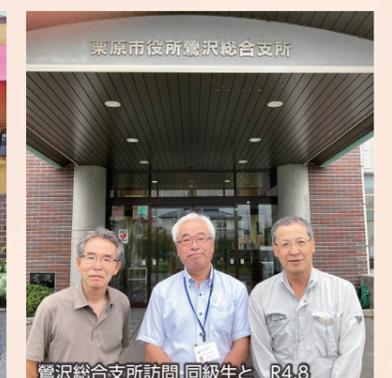
栗原市4校会 R5.2



栗原ハーフマラソン・同級生佐々木千早さんの声援をうけて R4.11



新年会キャブリスにて R5.1



燐沢総合支所訪問 同級生と R4.8

東京岩高会会報

2023年
第65号

令和5年7月23日 発行

発行人 宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部 東京岩高会 支部長 長沼和秋

(有)第一コミュニケーション印刷

東京岩高会会報

第65号
令和5年7月23日

総会開催案内

第67回 東京岩高会総会

東京に岩高家族の
笑顔の花を咲かせよう

令和5年11月23日(木曜日)
午前11時開会(KKRホテル東京)

詳細は2ページに掲載

「三迫川の菜の花と栗電鉄橋」

写真「東京岩高会ふるさと大使 土井祐之氏 S.54卒」



第67回 東京岩高会 総会 開催案内

平素より、当会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂きまして御礼申し上げます。これも諸先輩方・ご関係の皆様方のお支えがあつてのことと存じます。改めて御礼申し上げます。
今年の総会は下記のとおり、予定しておりますので、「今年度総会概要」をご確認頂きますようお願い申し上げます。特別プログラムでは、高橋良哉さん(S.53年卒 東邦大学教授)によるアンチエイジング(老化を抑える)のお話を予定しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- (1) と き：令和5年11月23日(木・祝) 11:00～14:00
- (2) と ころ：「KKRホテル東京」
東京都千代田区大手町1-4-1
Tel 03-3287-2921
- (3) 会 費：8,000円
※学生で初めて参加される方はご招待(無料)
- (4) 出欠連絡：10月31日(火)までにご連絡を頂きますようお願い致します。
※連絡先
支部長：長沼和秋 090-5339-8141
幹事長：高橋 聖 080-5034-0179
- (5) 還暦の会：今年はS.57年卒が対象であり、当日は当会よりお祝いを進呈致します。
お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内申し上げます。

—今年度 総会概要—

会費およびキャンセルについては下記のとおりとさせていただきますのでご了承の程、お願い致します。

会費

- ・会費は当日申し受け致しますが、年会費もご協力頂ける方は総会会費と併せてお振り込みをお願い致します。
(3,000円+8,000円)
- ※振込み先「東京岩高会 00170-3-55498」
- ※振込み手数料はご負担願います。

キャンセル

出席から欠席に変更される場合は11月20日(月)までに必ずご連絡下さい。これ以降のキャンセルは、会場手配の関係で会費を頂く場合がありますので、ご了承の程、お願い致します。

動き始めていることを
実感して



長沼 和秋
同窓会東京支部長
(就任H. 28/11)
S. 53年卒
鷺沢出身

栗原ハーフマラソン2022

2月には7年前より開催されている栗原市4校高校懇親会(築高・迫桜高・岩高・二迫商高/今回欠席)には37名が参加、ふるさとを語り合う会となり、これまでのような活動になりつつあります。
東京岩高会においては、本年も7月の会報発送、11月の定時総会に向けて準備を進めており、役員会も定期的に開催し情報交換を行えるようになってきています。

平素より、東京岩高会に対しまして、ご理解・ご協力を頂いており御礼申し上げます。

コロナ禍で動きづらい状況の中、第66回東京岩高会総会は、令和4年11月23日 後藤家光同窓会会長、村上孝志校長先生、豊嶋潤仙台支部長をはじめ56名卒・60年卒の新しい顔ぶれもあり、57名のご出席を頂き開催致しました。会を開催する度々に後藤仁先輩(S.45)から、とても多くのスイーツポテトを頂き、今回も全出席者にお配りさせて頂きました。

また、1月には在京栗駒会の新年会、



東京マラソン2023ネパールランナー Dharmaさんと

私は、東京岩高会を設立された昭和26年卒(1951年)の先輩方、御年90歳。昨年の総会には設立発起人のお一人小野寺喜美夫大先輩にご出席頂き、「弱冠26歳で同窓会東京支部を立ち上げようとしたところ、校長先生から君たち本当にできるのか」と。当時は連絡手段が

整っていなかった時代、総会には予定している人たちが来てくれるだろうか、また、新宿御苑で開催した時は前日から天候が心配でたまらなかつたなど、ご苦労のお話を伺う度、今の会があるのは先輩方のお陰と感謝の何ものでもありません。
「マラソン」は、高校時代陸上部だったことから今でも走り続けており、昨年11月には4年ぶりとなる栗原ハーフマラソンに出場。大会関係者には、同級生や後輩のサポートを頂きました

3月の東京マラソン2023には、39年前青年海外協力隊で陸上競技を教えたネパールから旧友Dharmaさんが東京マラソンを走るとの連絡を受け、また故郷から高校2年になる甥も10キロの部に出場することになり3人でスタートラインに並ぶこととなりました。

Dharmaさんはネパールではシニア最強ランナーで、ロンドンマラソンやベルリンマラソンにも出場しています。高校時代走っていたことで、ネパールへと導かれ、そして今でも繋がりを保持していることに、陸上部で指導頂いた角屋勇夫先生には感謝、感謝です。途中鎌田正聡会計監査、佐々木くに子顧問の応援を頂きました。

ウィズコロナ・アフターコロナの時代を迎え、我々の価値観や生活様式が大

—今年の総会会場— KKRホテル東京 (東京共済会館)

皇居を望む
素晴らしい眺望の
総会会場をご用意致しました。

◆アクセス

- いずれも徒歩5分
- ・東京メトロ東西線「竹橋駅」3b 出口直結
- ・東京メトロ千代田線「大手町駅」C2 出口
- ・都営地下鉄「神保町駅」A9 出口
- ※ JR 東京駅からは徒歩 20分



大きく変えてきていますが、人との繋がりと絆はこれまでと変わらなければならず、より強いものにしていかねばならないと思います、これまで築いてこられた先輩方の熱い思いを心にとめ、今年も私の3本柱であります「同窓会」「マラソン」「ネパール」、しっかりと務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



東京マラソン2023 鎌田先輩、佐々木先輩の
声援を受けて R5.3

誠の真心を叶える



後藤 家光
岩高同窓会会長
(就任R.元/8)
S.46年卒
鷺沢出身

東京支部の皆様、如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症もだいぶ収束して、当方は人口が少ないので特に問題は無く、マスクの着用等はだいぶ減少してきております。

しかしながら人口が密集している東京支部におかれましてはまだまだ予断が許されない状況と思われれます。

本年2月28日、同窓会入会式が執り行われ、新たに63名の同窓生が仲間入りを行いました。

大歓迎しております。

卒業式の来賓としては市長、PTA会長、同窓会長だけで、国歌斉唱も校歌斉唱も音楽のみで、歌うことなく実施されました。

入学式につきましては、従来どおり多くの来賓をお呼びし、マスク着用は自由ということで実施されました。誠に長い4年間でした。

なお、本年度の新入生は、昨年と同様に減少傾向にあり、24名と本校にとって大変な事態となっております。

昨年より、岩高魅力化プロジェクト委員会を立ち上げ、近隣の中学校等に実施しておりますが、中々入学者の増加にはつながっておりません。同窓会としても今後何らかの手段をとっていかねければと、役員一同頭を痛めております。

つきましては、東京支部の皆様方も良い方策をご提供頂ければと思っておりますので、ご検討をお願いいたします。

入学生は少なくなりましたが、生徒達には「清く、明るく、正しく素直な真心」を醸成して頂きたいと思っております。

学問の神様といわれる、菅原道真公の短歌に「心だに誠の道に叶いなば祈らずとも神や守らん」と詠っております。言ばに成ると書いて誠にとなります。岩高生が自分の言ったことに責任を持って対応することが大事であると思っております。

今年は、暖かい日が続き、桜の開花や栗駒山の駒姿も無くなりましたが、寒い日と暖かい日が連続しており体調管理が中々出来無くなってきております。

東京支部の皆様方も体調管理には

十分ご注意くださいましてお過ごしして頂ければ幸いです。

先日、4月29日一関の厳美溪で神楽大会が4年ぶりに再開され、私も大会に参加いたしました。

久しぶりの開催に、大変な人出がありました。神楽鑑賞にもファンの方々が駆けつけて、神楽を見て頂きました。東京支部の方々も、少しづつ行動範囲を広げて頂き、これまでの鬱憤を晴らして頂く様お祈り申し上げます。

最後になりましたが、東京支部の益々のご発展と会員皆様方のご健勝と、ご活躍を御祈念申し上げます。



岩ヶ崎高校の今



村上 孝志
第27代学校長
(赴任R.4/4)

東京岩高会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、第六十六回東京岩高会総会にお招きいただきまして、誠にありがとうございました。同窓生の方々幅広く活躍されている様子を直接うかがうことができ、昨年度本校に赴任した私にとつととても貴重な時間となりました。また、昨年度は、東京岩高会の御支援で生徒会旗を新調させていただきました。毎日掲揚台に掲揚し、大切に使用させていただいております。重ね重ね御礼を申し上げます。

さて、創立八十二周年を迎える本校は、昨年度の入学生から一学級減となっており、今年度は一・二年生が二クラスずつ、そして三年生が三クラスの合計七クラスという編成になっています。新入生は二十四名で、過去最少という状況です。栗原市の人口が平成

以降毎年約千人ずつ減少している影響もあると思えますが、本校の魅力ある学校づくりがうまく進んでいなかったことも大きな要因だと考えています。

そこで、昨年度、校内では「岩高魅力化プロジェクト委員会」を立ち上げ、服装自由登校期間の設定や、新たな部活動(バドミントン部)の新設、また、長期休業中に希望者を対象とした探究ツアーやイングリッシュ・キャンプの実施など、教育活動の魅力化に取り組み始めました。そして、今年度は、「岩高魅力化プロジェクト委員会」を校長直轄のプロジェクト・チームに再編し、在校生、地域の中学生やその保護者にとつと、より魅力ある教育活動を行っていくこうと、現在知恵を出し合っているところです。

一方で、小規模・少人数ならではの長も生かしています。生徒の頑張りはもちろんですが、先生方が生徒一人一人によく手を掛け、生徒達の可能性を存分に引き出してくれています。令和四年度の卒業生(63名)の進路実績は、国立大学16名、私立大学延べ79名、国立短大延べ6名、私立短大5名、高等看護学校延べ5名、公務員6名、専門学校8名、民間企業1名となっており、生徒の進路希望が多様化

する中で、とても高い進路希望達成率となりました。

今後も、これまでの伝統や小規模・少人数での教育活動の実践で培った実績を生かしながら、魅力ある学校づくりを進めていきたいと思っておりますので、引き続き御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京岩高会の皆様のご更なる御健勝と御活躍をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。



仙台支部長に就任して



豊嶋 潤
岩高同窓会
仙台支部長
S.60年卒

昨年から仙台支部長を拝命した豊嶋潤です。仙台支部の近況ですが、コロナの影響もあり、平成30年から総会を開催していない状況のため、まずは今年度の総会開催に向けて会員の把握から行ってまいります。東京支部の皆様におかれましては、仙台にいる同級生などへのお声がけをよろしくお願いいたします。

ここで自己紹介を含めて、高校生活について思い出してみますと、私は昭和57年4月に入学しまして、当時は4クラスで定員は160人だったと思います。男女比率がとても変でして、男子が40人に女子が120人程度でした。これを4クラスに分けるわけですので、各クラス男子10人女子30人で、多数決で何かを決定する際は常に女子の意向が反映されていたような気がします。とはいえ、何か不都合なことがあったという記憶はないので、小心者だった私は、女子の数に圧倒されていたのか

もしれませんね。2年生からは、学校側の配慮だったのか、1・2組は男女共学、3・4組は女子クラスとなりましたので、数の圧力は軽減されましたが、女子クラスという新たな未知の世界に恐怖（いや興味？）を感じていた記憶があります。また、部活動はサッカーを行っていました。小学生から続けていたので、高校ではバスケットでも思ったのですが、サッカー部のおつかない諸先輩の「もちろんサッカー部だよな」という容赦ないプレッシャーに負けて入部した記憶があります。当時のバスケット部は厳しいメニューをこなしていた印象があるので、結果的にはサッカー部でよかったと思っっています。また、ゴールネットの後ろで練習する女子テニス部にきれいな部員が入部したと聞いた際には、わざとゴールを外して見に行ったりしていたせいかキック力とコントロールが上達したという副産物もありました。このほか自分は勉学に励みたいのに強制的に自宅待機を言い渡されたこともありましたが、昭和60年3月に卒業し、なんとか地方公務員となり、現在に至っております。

最後に、昨年の東京支部の総会に同級生とともに参加させていただきました。数十年ぶりに会う同級生はもとよ



同級生(佐藤和之先生)と本部総会にて R4.8

り、職場でお世話になった先輩のお兄さんや父の同級生など、様々な年代の方と楽しい時間を過ごすことができました。これも仙台支部長を引き受けたからの出会いなのかもしれません。このような同窓生を軸にした出会いの場を仙台で開催できるような微力ながら尽力していきたいと思っております。こんな私ですが皆さま今後ともよろしくお願いたします。

岩ヶ崎高校の近況



佐藤 和之
岩ヶ崎高校
総務部長
S.60年卒

始業式・入学式からひと月が過ぎ、今学校では高校総体に向けて運動部が熱の入った練習に励んでいるところです。新入生は24名で、高校の授業に臨むにあたり緊張感を持ちつつも、少しずつ高校生活に慣れ落ち着いた生活を送っています。4月には恒例のLHRでの「花見」があり、学年やクラス写真の撮影、「岡本老舗」のだんごを味わいつつ談笑など、相互の親睦を深めることができました。

今年度は3年生のみが3クラス、1・2年生は2クラスずつの全校で合計7クラスです。在校生は1学年24名、2学年28名、3学年37名の合計89名となっております。男女比は4.6で、ここ数年女子の割合が少しずつ増えてきています。

授業ではICTの活用が進んでおり、昨年度宮城県の実策「みやぎハイスクールネットワーク」の指定校となり、全国的に見ても先進的な他校から

の遠隔授業が2年目となりました。今年度は地学基礎と地理総合および美術Iの3科目を他校の先生にご担当いただき行っています。当初は不安もありましたが、始まってみれば皆授業に違和感なく取り組んでおり、Z世代（デジタルネイティブ世代）といわれる生徒たちは、ICTへの受容性が高いというのをあらためて感じさせられました。

進路や学業の成果の面では、「真面目な努力家」という岩高生気質はしっかり受け継がれていると感じます。令和5年卒業生63名は本当によく受験に向き合い、大きな成果を挙げることができました。9月に始まった公務員試験の合格者数は国家公務員3、栗原及び登米市役所3、消防士1、自衛官5（以上延べ数）と、難関を突破して多くの合格を勝ち取りました。さらに大学進学関係では国公立大学合格者が16名、こちらも近年にない合格者数となりました。なかには11月の学校推薦型入試から始まって3月の国公立大学個別入試の中期試験まで、長い受験期間をすべてやりきって、遂に合格を勝ち取った強者もおりました。また、私立大学では在仙大学の合格者が多い一方で、関東方面の神奈川大学、専修大学、日本大学などに進学した卒業生もおり

ますので、東京岩高会でお世話になることと思っております。よろしくお願いたします。

部活動では、文化部に所属する生徒が増加傾向で、活気がある活動を行っている部が増えています。特に科学部は多数の1年生が入部し、5月の連休中には学校のグラウンドを使って災害時に備えた野外活動体験「科学部防災キャンプ in 岩ヶ崎高校」を行いました。運動部の中では女子バレー部、陸上部、卓球部、テニス部などに比較的多くの部員が所属し、単独チームでの各大会に参加しております。一方でその他の運動部は部員不足により近隣の高校との連合・合同チームで活動しています。

急速な生徒減少が進んでいるため、昨年度「岩高魅力化プロジェクト」を立ち上げ、魅力ある学校づくりに全校をあげて取り組んでいます。各方面からの様々なご意見を集めながら、バドミントン部設立、国際交流や校外団体と連携した探究活動などを実施しています。今後とも本校をめぐる環境や社会の変化に対応しながら、魅力ある学校づくりを進めてまいりますので、引き続きご支援とご鞭撻をよろしくお願いたします。



夏季学習会



金融経済教育講座



理科・探究ツアー

岩ヶ崎高校の近況



三浦 穂奈美
岩ヶ崎高校
生徒会副会長

新たな環境に不安と希望を抱きながら岩ヶ崎高校に入学して早2年が経ちました。コロナウイルスという未知の病原体が現れてから1年、世界中の人たちがマスクをつけた生活に慣れてきたところ、私たちは高校という未知の環境に歩みを始めました。始めは苦悩の毎日を送っていましたが、最高の仲間たち、先生方に恵まれ、誇れる学年となりました。まだまだコロナウイルスの支障は残ると思いますが、各々が岩ヶ崎高校の更なる発展に思いを巡らせ、日々の生活に勤んでいきます。

生徒会では、四月上旬に新入生オリエンテーション、対面式を行い、少人数の中でも高校生活を存分に送ってもらうため、自分たちができることを精一杯行い、校歌練習も無事に終えることができました。今までの2年間で全校で校歌を歌うことも1度しかできませんでしたが、多くの場面で空間いっぱいには全校生徒の声が響きわたり、

コロナ禍を経験しなければ味わうこともなかった感情があふれます。先日は生徒総会や総体壮行式が行われ、たくさんの反省が見つかった反面、それぞれの想いが垣間見え、今後の岩ヶ崎高校に新たな希望が見えたように思えます。

さて、5月・6月には各運動部3年生の大舞台である高校総体が行われます。5月からはコロナウイルスも5類に変わり、制限されていた家族の観戦も徐々に可能になり、今まで一番近くで支えてきてくれた家族に自分の雄姿を届けることに喜びを感じ、さらに高みへの意識が強まります。総体壮行式では、各部意気込みを宣言し、文化部の人も応援団として、岩ヶ崎高校生全員で戦う意志を強めました。激励の言葉では、生徒会長が自身の経験を話し、今こうしてできることへの感謝や思いを述べ、鼓舞しました。コロナウイルスによって中総体ができなかったことや、入学者数の減少から新入部員が入らない部活も多く、試合に出ることさえ危ぶまれてきたなか、どんな形であれ出場することができると今大会は、それぞれの想いが最大限に発揮されることでしょう。コロナウイルスは今までは危害ばかりを与えてくる嫌なものではないかと思っていました。が、当

り前だと思ってきたもののありがたみなど、コロナ禍になつていなかったら気づくこともできなかったらどうだろうと気づかされました。

最後に、3年生はコロナ禍以前に思い描いていた高校生活を送ることはできないかもしれません。しかし、私



ちにはどんな状況でも目一杯楽しむことができます。それもいつも支えてくれる家族、先生方、友達がいてくれるのおかげです。非日常だからこそ気づけた多くのことを忘れずに、今後も岩ヶ崎高校がより一層盛り上がりつついけるように精進していきます。

生徒会旗が新しくなつて

前生徒会長

菅原大河

毎日、伝統ある先輩から引き継いだ生徒会旗を掲揚してきました。ただ、毎日の風雪に耐え、ほころびがめだつてきたなあと思っていました。そんな時、昨年8月東京岩高会から新規で生徒会旗を寄贈して頂きました。東京岩高会の皆様の岩高を想う気持ちを胸に毎日、掲揚させていただきました。ありがとうございました。



第66回東京岩高会総会開催される



第66回東京岩高会総会



第66回東京岩高会総会



第66回東京岩高会総会



第66回東京岩高会総会



第66回東京岩高会総会は、令和4年11月23日（水）午前11時、皇居を見渡せるKKRホテル東京にて開催され、同窓生と来賓総勢57名の出席を頂きました。

コロナ禍が3年も続く中、昨年より出席者は倍程となり、近隣の高校より築館高校、迫桜高校からも関係者の出席を頂きました。総会は高橋聖幹事長（52）の司会進行で始まりまして。

開会の辞は加藤旭孝幹事（53）による開会宣言が行なわれ、支部長の長沼の挨拶で総会の幕を開きました。本総会には、後藤家光同窓会会長、本校より村上孝志校長先生、豊嶋潤仙台支部長をはじめ56年卒・60年卒の新しい顔ぶれの出席を頂き、今から65年前の昭和32年に弱冠25歳で東京岩高会を設立された小野寺喜美夫大先輩（90歳）も出席されている旨、報告がありました。

来賓の挨拶として、後藤家光会長、村上孝志校長先生から故郷及び本校の近況報告があり、同窓会本部より助成金の授与が行われました。

■本部・本校
 会長 後藤家光様
 校長 村上孝志様
 副会長 蘇武徳行様（23代校長）
 副会長 菅原浩紀様
 常任幹事 大江洋樹様
 常任幹事 大内明美様
 ■仙台支部
 支部長 豊嶋潤様
 笠原すみえ様
 ■迫桜同窓会東京支部
 支部長 亀山晶子様
 事務局長 阿部武寿様

■築館高校同窓会東京支部
 顧問 熱海光頭様
 副支部長 玉井順一様
 幹事 千田英雄様
 小野寺洋子様

■東京栗駒会
 会長 菅原勲様

今回の総会には、佐藤智原市長よりお祝いのメッセージを頂き、そして今回も、後藤仁様（54）から、ご厚意でもとも多くのお手を頂き、出席者に配られました。

議事進行は浅野弘巳幹事（54）が議長に選出された後、浅野和優幹事（54）から活動報告・会計報告並びに鎌田正聰会計監査（53）から監査報告が行われました。

引き続き次年度の計画案及び役員案の発表があり承認されました。

今年の特別プログラムは、岩永壽子（53）様、古館芳子様（51）ご姉妹による民謡三味線、全国大会入賞するなどのご経歴があり、三味線でサポートするのは津軽三味線の大神所澤田勝仁先生、歌手長山洋子さんの専属伴奏者。文字甚句など5曲ほど披露頂き、民謡三味線の世界の30分間でした。

引き続き、菅原一顧問（53）による乾杯で懇談が始まりました。

主席者からのスピーチ及び長寿お祝いとして、卒寿（90歳/52）、米寿（88歳/528）、傘寿（80歳/536年）、古希（70歳/546）、還暦（60歳/556）を迎えられた方に、無病息災、長寿祈願へのとげぬき地蔵尊、高岩寺のお札が贈られました。

閉会の辞は鎌田正聰会計監査（53）が行い、閉会となりました。



四ノ宮 健治
S.54年卒
栗原市文字在住

■四ノ宮さんは、栗原市内で介護の仕事をしてのことですが、長くされているのですか？ 介護の仕事を始めようと思われたのはどうしてですか？

令和3年の5月から始めました。34年務めた仙台の建設会社を定年退職して、後は地元でとって置いていたところに知人から声がかかり、どうせやるなら未知の世界と思って飛び込みました。「介護だけはないなあ」と、思っていました。

■介護施設といっても種類があるようですが。

有料老人ホームとデイサービスが併用されている施設で働いています。

■介護のお仕事をするには経験が必要ですか？ 資格は必要？ 慣れるまでのくらいかかりましたか？

に、費用の安い特別養護老人ホーム（特養）は、施設によっては、年単位での順番待ちもあるようです。

■ふるさとにいる父母を介護施設にお願いするにはどうしたらいいですか

どのサービスを受けるかによって変わって来るとは思います。まずは、ご両親が住まわれている市区町村の介護保険担当課で相談されてはいいかがでしょうか。介護には、高齢者本人だけでなく、その家族の負担軽減も含まれています。

■入所する条件はありますか？ 栗原市外（東京）からでも入所は可能ですか？

どの施設を利用するかによって変わってきます。有料老人ホームは、どの施設でも入所可能です。地域密着型の施設を利用するには、利用する場所に住民票がなければなりません。また、特別養護老人ホームが希望の場合は、要介護3以上でなければなりません。

■申し込みはすぐに入所できるのですか？

どこの施設も入所待ちが現状です。どこで、どのようなサービスを受けるかを考慮し、できるだけ早く動くこと

経験は必要ないと思います。実際、私は、建設会社の事務屋でペンと計算機とキーボードしか持ったことがなくともできています。「資格」は、無資格であるが故に、してはいけない事へのジレンマに陥らないためにも必要かと思えます。「慣れ」は、仕事に対してよりも、人生初の「シフト制」での勤務形態の方が大変でした。

■介護はどのような仕事ですか？ 1日のルーティン（流れ）はどんな感じでしょうか？

当施設は、有料老人ホームとデイサービスを併設しているので、送迎から始まり、血圧測定、入浴（介助）、トイレ誘導（介助）、昼食（介助）、個別機能訓練、レクリエーション、送迎、夕食（介助）、就寝（介助）が主な流れですが、同時に個人毎の介護記録、日によっては病院受診の送迎も入ってきます。

■介護の仕事は大変な面があると言われていますが、どんなところが大変ですか？ また、コロナ渦では特に大変だったと思えますが

特に大変と思ったことはないです。毎日、笑って、歌って、楽しく過ごして

が必要かと思われれます。入所する施設を比較・検討するなら、実際に見学や体験をしてみるといいと思います。職員や食事の内容をチェックするのもいいと思います。

■実際にお願いとすると費用はどのようになりますか？

一番気になる問題だと思えます。利用するサービスによって費用は異なります。安く利用するには、介護保険を利用するのが一般的ですが、介護保険を利用するには、要介護認定を受ける必要があります。申請してから40日かかるので、早めの手続きが必要です。費用面を含め市区町村の介護保険担当課に相談される方がいいと思います。

■お仕事のお話ではありませんが、高校時代の思い出、印象深かったことがありましたら

高校時代、特に印象に残ったことはないかなあ。でも、還暦を過ぎた今でも、5人で連絡を取り合っていて、食事をしたりしています。強いて言えば、庄司賢三先生との出会いでしょうか。担任で体操部の顧問で、3年間大変お世話になりました。場面、場面でアドバイスを頂き、今でも大切にしています。

ていますから。コロナ渦でも、マスク、手洗い、うがい等普段通りの生活をしていて、特に大変だとは思わなかったです。

■人手不足で外国人実習生をいれているケースもあるようですが。

とても難しい問題だと思えます。一番の問題は、言葉の壁だと思えます。私自身、外国人と会話をしたことが皆無です。日本人同士でも、方言や年齢差によって理解できない言葉があるのに、そこに外国人が入ってきたら、利用者が増えたようになりますね。

■介護の仕事をしていて大事にされていること、心掛けていることは何ですか？

利用者に寄り添った介護です。利用者には、病気や認知を持っていて、自分の気持ちを伝えられない方々がほとんどです。視線を下げ、話を聞いてあげて、声掛けは敬語を使うようにしています。

■栗原市内での介護施設概況について教えてください。

栗原市内にかかわらず、介護施設はこの地域も順番待ちが現状です。特



後列左：四ノ宮さん、前列左：庄司賢三先生



施設内にて



介護中の仕事の様子

「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

宮城・栗駒産 くりこま ひとめぼれ

くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻6番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

卒業生：S47加藤洋、S52岩淵功、S53五十嵐功、S55五十嵐晃、S58工藤勝枝、H9糟川亮、H19初藤圭

URL <https://kougenfarm.jp/>

<ISO14000:2004 取得>

— 環境に思いやり —

金属スクラップ・リサイクル

株式会社 ハガ

栗原市栗駒中野田町西150

TEL0228-45-3421 FAX45-5300

↑ 栗原田町にある広大な敷地と工場全景
代表：芳賀 恭(S.46年卒・岩ヶ崎出身)



くりこま山車祭りも一部復活



くりでん線路に咲くコスモス



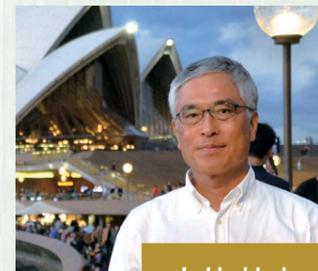
くりこま夜市、神楽の舞



一関のバルーンフェスティバルから
気球漂着



夏の夕暮れ、尾松地区



土井 祐之
S.54年卒
栗原市鳥矢崎在住

「栗駒山の里だより」
ワールド

東京岩高会ふるさと大使 土井 祐之
さんのブログ「栗駒山の里だより」か
らご紹介頂きました。



山の駅くりこま4周年



阿部農園のさくらんぼ



3年ぶり、くりこま夜市大盛況



富野熊川のこいのぼり
夏の大雨にみまわれた三迫川河川敷公園



判官森からの風景



伊豆沼でカモのけんか



夏の暑さ始まる田圃



朴木の花

一迫門伝醸造の地酒「こでらんねえ」



栗駒山の紅葉



栗駒深谷のひまわり畑



深山牧場、牛のいる夏



世界谷地第二湿原のわたすげ



田植を待つ夕暮れの田んぼ



花山浅布溪谷の紅葉



鶯沢八鹿踊り



鶴丸城跡のこぶしの花



鶴丸城跡の桜



世界谷地への登山道



細倉鉱山跡の水仙の花

鶴ヶ鮎 駒ゆべし 季節の和菓子



岡本老舗

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 S.53年卒 岩ヶ崎出身



栗原の田園風景

東京でふるりの心を活かす栗駒会

東京栗駒会

会長 伊藤 税 (S.44年卒)

千葉県印旛郡栄町安食台2-27-28

TEL 090-4170-5596



オフィスのライフラインを
賢くサポート

 理工事務機株式会社

会 長 亀 井 榮 利 (S.26年卒)
(旧姓・門伝 鶯沢町出身)
代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

<https://www.ricohjimuki.co.jp>

不動産のことならセイトグループへご相談ください。

～不動産の総合窓口～

「目指すのはマーベラスな家づくり、街づくり」をモットーに、
私たちは住まう方にとって、
大切なお住まいが長く、安全に、安らぎの空間となるような
お手伝いを心掛けております。
また、ご資産物件のご紹介、お手持ちの賃貸物件の管理もお任せください。



JR 中央線国分寺駅南口徒歩 3 分



株式会社 西都建物

〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-22-11 TEL:042-300-2111

HP はこちらです→



株式会社 マレード
注文住宅・建売住宅



株式会社 ムサシホームズ
賃貸管理・不動産売買



株式会社 セイトリフォームサービス
メンテナンス・リフォーム

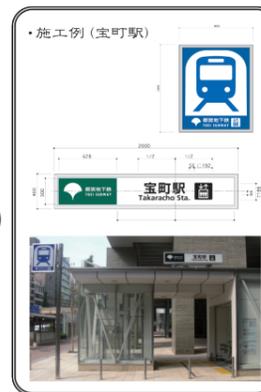
(株)マレード店長 佐々木 哲夫 (S49 卒・鶯沢出身)

サインボード・サインシステム

arte 株式会社 アルテ

会長 吉野 玲子(S.28年卒 岩ヶ崎出身)

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目30番9-403
TEL 03(6806)5069 (2016年 大宮(植竹)工場新設)



キャプリス『Caprice』

キャプリスは、10年程前に宮本洋子さん (S.42年卒) が八丁堀に開いたお店で、シェフは息子さんの勝徳さん。メニューは洋食創作料理、昼のランチプレートから、夜は単品だけでなくコース料理まで楽しめます。



東京都中央区八丁堀2-10-3
03-3553-5388
最寄駅:
東京メトロ 八丁堀駅5分、
JR東京駅20分
営業時間:
月～金曜日11:30～14:00、
17:30～22:00
土曜日17:30～22:00
定休日:日曜日・祝日